

※ 今週のアウトルック (6/17~6/21)

先週は、米ドルの買い戻しが少し進む展開となりました。
日本のタンカーへの攻撃があり、一時的に緊張感が高まる展開となりましたが、今のところ為替、株式ともそれほど大きな影響はないようです。

今週はFOMCの利下げ示唆に注目が集まっているようですが、早期の利下げを連想させる発言などが出た場合には、ドル安NYダウ高が進むこととなりそうです。

先週ドル円は、早期の利下げが噂される中、反して少しだけドルの買い戻しが進む展開となりました。

今週は、週中のFOMCで早期の利下げを示唆するような発言などがあるかどうか、注目が集まっているようです。

もし、早期利下げが示唆された場合には、ユーロドル、ポンドドルなどが、上昇に転じる可能性があります。テクニカル的には下降トレンドを示唆しているため、判断が難しいように思います。

ドル円も108円を割ってしまった場合には、106円あたりまでの急落の可能性が浮上しますが、総合的に解釈すると、今回のFOMCでは早期利下げが示唆されないの見方が強いのかもしれません。

ドル円の予想レンジは106円から110円です。

ユーロ円は、ユーロドルのサポートラインブレイクの失敗などから、一転して下落トレンドとなっています。

今週は、テクニカル的には下降トレンドの示唆、121円を割ってしまった場合には急落の可能性が浮上という事になりそうですが、FOMCで早期利下げが示唆された場合には、判断が難しくなりそうです。

ユーロ円の予想レンジは120円から124円です。

ポンドも、テクニカル的には下降トレンド入り間近、136円を割ってしまった場合には急落の可能性が浮上。という事になりそうですが、FOMCで早期利下げが示唆された場合には、判断が難しくなりそうです。

ポンド円の予想レンジは132円から140円です。

米国金利の引き下げ期待による、NYダウの上昇トレンドが進んでいますが、早期の利上げが示唆されない場合にどういった展開を見せるのか、注目したいところです。

免責事項

当レポートを参考にトレードを行い、損失が生じた場合でも、責任は負いかねますのでご了承ください。